

# 「命のビザ」杉原千畝夫妻顕彰活動2023

## 命のビザ・杉原千畝夫妻顕彰会



### 事業目的

人道の精神・国際感覚を養い、世代間交流をはかりたい

1940年7月、第2次世界大戦の前夜、ナチスドイツやソ連の迫害から逃れて来たポーランドやベラルーシの多くのユダヤ人難民が日本の「通過ビザ」を求めて、リトアニアのカウナスにあった日本領事館に集まった。対応したのが副領事の杉原千畝で、ビザ発給について本国の外務省に打診すると、返信は否定的なものだった。千畝は葛藤の末、「人命第一」とする人道の精神により職を賭してビザ発給することを決断した。この決断を支えたのが幸子夫人だった。当時、二人の間には小さな男の子3人がいた。2000余り発給されたビザにより救われた命は6000名にもおよび、後に「命のビザ」と言われるようになった。

今日でも民族迫害は世界各地で続いている。島国の日本でも政治的難民の扱いについて問題になっている。2022年2月にはロシア軍によるウクライナ進攻が始まり、いまだに続いている。「人道の精神」が世界に尊敬される日本人になるためにも大切になっている。お二人の偉業を伝えて学び、幸子夫人の誕生地である沼津の誇りとしたい。

### 現状と目標

杉原千畝の妻、幸子夫人が沼津出身ということを市民はまだ知らない

一般市民はもちろんマスコミ関係者でさえ「幸子夫人の誕生地が沼津であったことは初めて知った」という声があった。新聞や『広報ぬまづ』2021年1月15日号で紹介されたが、お寺を訪れる人々、高校生、大学生に聞いてみると、「命のビザ」や幸子夫人の誕生地について認識されていないことが分かる。まだまだ一般市民、次代を担う世代に歴史的偉業が浸透していないというのが現状であり、顕彰活動を継続し発信し続けていくことが必要だと思う。



慶祝 沼津市制100周年 杉原幸子誕生110年

### 第3回 命のビザ希望の集い

令和5年 11月5日(日)

開演/11:00~

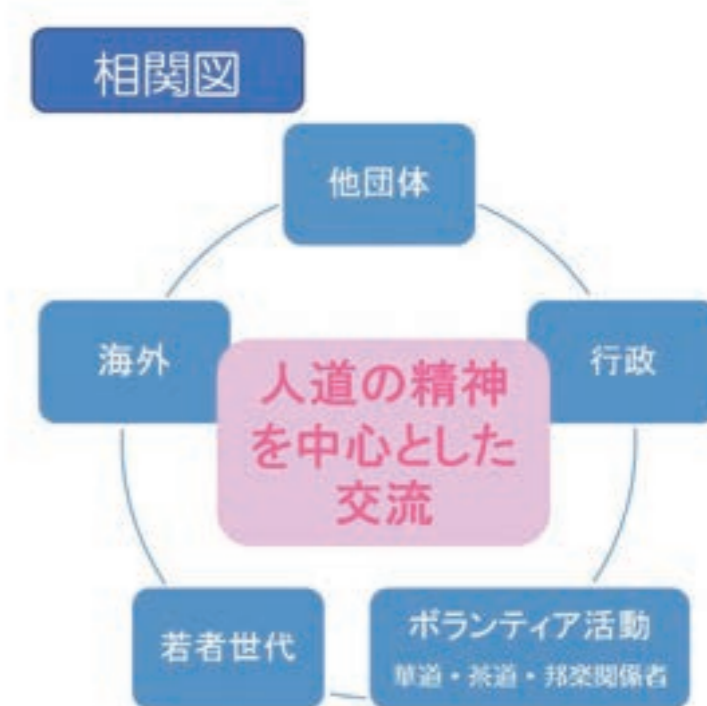
港口公園(杉原千畝夫妻顕彰碑前)



献茶



市制100周年祝賀演奏



### 第4回 命のビザ講演会

令和5年 11月25日(土)

開演/12:30 開演/13:00~

プラサヴェルデ3階 大会議室(301・302号室)

杉原千畝とスターリン

なぜソ連はユダヤ難民のシベリア横断を許したのか?

講師/石郷岡 健(いしごおか・けん)



NPO杉原千畝・命のビザ理事長  
杉原 まどか



リトアニア  
クリスティーナ・シャルティエー1等書記官



イスラエル  
モール・エマリア報道官

### ウクライナ人道支援活動 ウクライナ講座

令和5年 10月7日(土)

開場/13:00 開会/13:15~ 閉会/15:15

サンウェルぬまづ2階 大会議室

(ぬまづ健康福祉プラザ)

講師: 齊藤巧希(桐陽高等学校教諭)

内容: ウクライナの歴史と現状について

主旨: ウクライナ侵攻について、ウクライナと

ロシアの歴史的背景からの現状を学ぶ

対象: 青少年から一般成人

